

精神保健福祉講演会

2月9日(土)に精神保健福祉講演会「こころの元気づくり～イライラと落ち込みのコントロール～」を開催しました。この講演会は、心の健康づくりに関する正しい知識を普及することで、皆さんの心の健康の保持増進を図るとともに、精神障がい者の自立に対する地域の皆さんの関心と理解を深めることを目的とし、本市と福岡県筑紫保健福祉環境事務所が共催して毎年開催しています。

本年度は、福岡県立大学人間社会学部教授上野行良先生を講師に迎え、イライラ・ストレスの正体とその対処法についての、ユーモアを交えたとても楽しい講演となりました。本紙28ページ「こんにちは保健師です」には講演の内容を掲載しています。ぜひご覧ください。



太宰府市学校給食会 講演会

2月9日(土)に太宰府市学校給食会講演会をプラム・カルコア太宰府で開催しました。

助産師・思春期保健相談士である内田美智子先生を講師に迎え、「食卓から始まる生教育～一人で生きていく子どもたちのために～」と題し、たくさん子どもたちや保護者を見てきた先生が、「食」の重要性について講演されました。

食べることは生きることであり、次代を担う子どもたちに正しい「食」の知識や望ましい食習慣を身に付けさせることは、健やかな体や豊かな心の育成、ひいては確かな学力の向上といった、生きる力の基礎づくりにつながります。

多くの皆さんにご来場いただき、「食」と「生きる」ことについて考えるきっかけになりました。



太宰府市自治協議会 副会長
太宰府小校区自治協議会 会長

おおすえ せいいち
大末 精一 氏



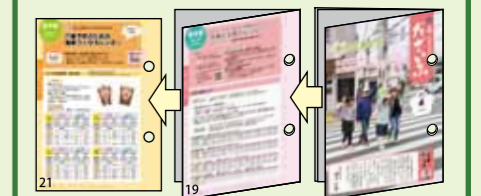
飛梅は今年もお正月に開花してくれました。境内の何千本もの梅花と香を満喫し、歴史の散歩道沿いに横岳地区に向かい瑞雲寺の境内の昼なお暗い横道を、真っ赤な藪椿を眺めながら東観世の丘に登ると、目前に梅林が飛び込んできます。息を弾ませながら大木の緑に調和した梅林の静けさを見ていると、この場所に来た喜びがこみ上げてきます。更に市民の森を落ち葉に足を取られながら横断し休憩広場に出ると、広々とした斜面一面に白・ピンクの梅林が香りと共に静かに迎えてくれます。市民の森をあとにし歴史の散歩道に戻り政庁跡北部に進めば、坂本八幡宮前の梅林は多くの方々がその優雅さを堪能し、写真撮影を楽しんでいます。

太宰府は梅花の後、街のあちらこちらに、こぶし・モクレン・桜・なんじゃもんじゃ・菖蒲・紫陽花・コスモス、そして紅葉と私たちの目を楽しませてくれますが、私が一番太宰府の美しさを語るのには自然の美しさに加え、街がきれいに清掃されていることです。多くのボランティアの方々が寒い日も猛暑の日でも街の清掃活動に汗を流して頂き心から感謝致しています。美しい太宰府の街が私の誇りです。

特集

私のだざいふ	2
まちのトピックス	2～3
市政ニュース	3
平成31年度施政方針 (経営企画課)	4～9
表紙関連 防犯だより (防災安全課)	10
風しんの予防接種はお済みですか… (元気づくり課)	11
市からのお知らせ	12～18

保存版 子育て支援カレンダー…	19～24
保存版 介護予防のための健康づくり カレンダー【前期】	21～22



この部分をそれぞれ抜き取り、保存してご活用ください

愛犬に愛情1本！狂犬病予防注射 ～4・5・6月 狂犬病予防注射月間～ (環境課)	25
--	----

連載	26～32
なんでも情報コーナー	33～41
太宰府の文化財 (文化財課)	42

まちのトピックス

日本経済大学 地域貢献プログラム報告会

2月5日(火)にプラム・カルコア太宰府で、「日本経済大学 地域貢献プログラム報告会」が開催されました。

本市は平成27年に、当時太宰府キャンパスネットワーク会議に加盟していた市内の大学と、相互に協力しながら地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的として、連携・協力に関する協定書を締結しました。現在もさまざまな分野での連携・協力をいただいています。

今回は日本経済大学が本年度中に実施した、本市での消費者教育、幼児の運動能力測定会、地域団体・公共施設との連携、創業環境調査、観光調査について、学生の皆さんが報告しました。



だざいふ景観・市民遺産フェスタ

3月10日(日)、だざいふ景観・市民遺産フェスタが太宰府館で開催されました。午前には、景観や市民遺産に関する体験コーナー、午後は第5回だざいふ景観賞の表彰式などが開催されました。

昨年9月に認定された市民遺産第14号「梅香苑夏まつり子どもみこし」の認定書授与式では、梅香苑区の子どもたちが法被姿でおみこしを担ぎ、元気よくまほろばホール内を練り歩きました。また、昨年度に認定された市民遺産第13号「太宰府をうたう」全11曲の育成活動報告をはじめ、市民遺産を育成する各団体のステージ発表が行われました。



みこしを担ぐ子どもたち

人権まつりだざいふ2019

2月24日(日)、プラム・カルコア太宰府および露切公園で「人権まつりだざいふ2019」を開催しました。

プラム・カルコア太宰府館内では、人権作品表彰式、市内小・中学校および各団体の歌や演奏などのステージ発表、展示・体験コーナーを設けました。あわせて、各団体による飲食・物販のコーナー(テント村)も出店し、多くの来場者で賑わい、人権尊重のまちづくりを発信する場となりました。

当日は、九州北部豪雨災害復興支援として「朝倉災害母子支援センターきずな」に向けた募金も集めました。



学業院中学校の生徒たちによる平和劇



テント村(ウガンダ奨学金委員会による支援物資の販売)